



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

# 大阪高槻ラウンド報告

平成28年10月15日(土)高槻市役所総合センターにて「高槻ラウンド」を開催しました。  
大阪府では初めての開催となりましたが、佐藤豊先生、高橋修一調査官をはじめ、府外(兵庫県・広島県)から13名、府内から26名とたくさんの方々にご参加いただきました。  
熱いお話をいただきました佐藤豊先生、高橋修一調査官、ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。

## 1. 情報提供「中央教育審議会より」

国立教育政策研究所 高橋調査官から学習指導要領改訂の背景、次期学習指導要領の方向性等について説明いただきました。これまでの「何を学ぶか」という内容に加え、「何ができるようになるか」ということが重要になることや、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善についてお話をいただきました。アクティブ・ラーニングの視点での授業を行うことで、子どもたちが必要な資質・能力を身につけ、深い学びにつながっていく……改めて確認することができました。



## 2. グループワーク



グループごとに自己紹介の後、アクティブ・ラーニングの視点での授業づくりについて交流を行いました。主体的・対話的な学びを通じた深い学びとは何か…?  
初めて顔を合わせたメンバーでしたが、体育の授業づくりにはみなさん熱い想いがあり、どのグループも活発な意見交流となりました。



## 3. 単元構造図ワークショップ



はじめに、佐藤先生からワークショップの説明いただきました。授業を改善するポイントとしては、まず学習指導要領の趣旨と内容の理解が重要であることや、それぞれの観点に関する教材化のイメージなど、短い時間でしたが体育科教育の様々な知見をお話しいただきました。  
その後、中1・2のバレーボールの単元構造図を作成しました。参加者からは、「中学校の単元構造図を作成することで、小学校でのゴールを考えることができた」「様々な考え方や意見等を交流する中で考え努力した単元構造図、アクティブ・ラーニングを自分自身が体験することができた。」「指導と評価の一体化が改めて大切であると感じた。」など前向きな意見が聞かれました。校内研修会などでも、この手法を使うことができそうですね。

## 4. まとめ

ワークショップの中でも、「関心・意欲・態度の評価がむずかしい」という声もあり、佐藤先生からそれぞれの観点をバランスよく評価する方法などについてお話しいただきました。学習評価の考え方について、事例をあげて詳しく説明いただいたので、参加者もさらにイメージがつかめたと思います。

最後に…

高槻市のマスコットキャラクター「はにたん」のはにわにかけて、まとめていただきました。

**は**っとする展開と言葉かけ(=教材開発) **に**こにご笑顔の(=受容的な雰囲気)

**わ**かる・できる楽しさを(=内容の定着)

